

4. 一般廃棄物処理施設の整備状況について

1 一般廃棄物処理施設の概要(地方公共団体)

(1) ごみ焼却施設

ごみ焼却施設数(令和4年度稼働中)は16施設であり、燃焼方式別に見ると、24時間燃焼方式(全連続運転)が13施設、准連続運転が3施設である。また、処理能力規模別に見ると、100t/日以上が8施設、50～100t/日が5施設、50t/日未満が3施設となっている。

(2) 粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設(令和4年度稼働中)は、処理方式別に見ると、破砕が4施設、併用(破砕及び圧縮)が1施設である。

(3) 資源化等の施設

資源化等の施設(令和4年度稼働中)は、圧縮・梱包等を行う施設が13施設あり、燃料化を行う施設が4施設ある。

(4) 最終処分場

最終処分場(令和4年度稼働中)は20施設あり、残余容量が3,713千m³となっている。

(5) し尿処理施設

し尿処理施設(令和4年度稼働中)は、8施設である。

(6) コミュニティプラント

コミュニティプラント(令和4年度稼働中)は1施設であり、長時間ばっ気方式を採用している。

2 一般廃棄物処理施設整備状況概要一覧(令和4年度稼働中施設)

【焼却施設】

炉形式	施設数	処理方式	施設数	処理能力	施設数
全連続運転	13	ストーカ式	15	30t 未満	1
				30t 以上50t 未満	2
				50t 以上100t 未満	5
准連続運転	3	流動床式	1	100t 以上300t 未満	5
バッチ運転	0			300t 以上500t 未満	1
				500t 以上	2
合 計					16

【粗大ごみ処理施設】

処理方式	施設数
破碎	4
圧縮	0
併用	1
合 計	5

【資源化等の施設】

処理方式	施設数
圧縮・梱包等	13
ごみ燃料化	4
合 計	17

【最終処分場】(稼働施設)

埋立場所	施設数	残余容量[m ³]
山間	19	3,658,493
平地	1	54,939
合 計	20	3,713,432

【し尿処理施設】

処理方式	施設数
好気性	2
標準脱窒	2
高負荷脱窒	1
膜分離	1
その他	2
合 計	8

注 複数の処理方式を持つ施設は「その他」としている。

【コミュニティ・プラント】

処理方式	施設数
接触ばっ気	0
長時間ばっ気	1
その他	0
合 計	1